

第 159 回 計測技術委員会議事録

日 時 平成 30 年 7 月 27 日 (金) 14:00~16:30
場 所 電気倶楽部 B 会議室
出席者 委員長 大谷 (日大)
副委員長 仲嶋 (福山大)
委 員 河村 (アンリツ), 佐山 (防衛大), 松村 (日大)
水野 (統) (電通大), 水野 (麻) (NICT)
望月 (三菱電機),
幹 事 作本 (日大), 今池 (日大)
幹事補佐 白井 (日電検)

資 料

- 159-1 平成 31 年度 計測技術委員会活動計画一次案
- 159-2 平成 31 年度 計測研究会開催予定一次案
- 159-3 平成 30 年度 計測技術委員会活動状況
- 159-4-1 計測研究会プログラム (6 月 29 日開催分)
- 159-4-2 研究会企画連絡シート (11 月 15 日及び 12 月 20 日開催分)
- 159-5 平成 31 年電気学会全国大会シンポジウム取決め
- 159-6 基礎・材料・共通部門活動資金申請書
- 159-7 平成 31 年度戦略的事業の申請
- 159-8 研究会活動に対する補助金について

議 事

1. 議事録の確認

以下修正のうえ承認された。

P.2 L.7「アンテナ・伝搬研究会 (AMT 研, 第二種研究会) からの」→「AMT 研からの」

2. 研究調査運営委員会 (5 月 18 日開催)

大谷委員長より以下の報告があった。

- ・ 研究会資料のペーパーレス化について検討を開始。平成 30 年 5 月から、各部門のうち 1 件程度の研究会で運営方法などを検証し、問題点を洗い出す。平成 31 年度開始を計画するが、予約分の資料はこれまで通り冊子で発行する。
- ・ 優秀論文発表賞 (A 賞) のあり方について、マグネティックス技術委員会から問題提起があった。A 賞の割当ては現状のまま、部門表彰は発表割合を考慮して増やす方向で検討中
- ・ 平成 31 年度の部門大会は 9 月 3 日~4 日に岩手大学で開催予定
- ・ 平成 30 年度上級会員の申請は 7 月末締切。該当者は大谷委員長に申し出てほしい。
- ・ 解散した「テラヘルツ波を用いた非破壊検査技術調査専門委員会」の技術報告賞の申請を 11 月に行う。

3. 平成 31 年度計測技術委員会活動計画及び研究会開催一次案

作本幹事より資料 159-1 及び 159-2 に基づき説明があった。

- ・ 10 月の計測技術委員会で詳細を決定する。

- ・ 6月の「電磁波計測・センサ応用」の研究会は、「電磁波計測・リモートセンシング」のテーマではどうか。AMT研究会との連催を予定する。
- ・ 11月は佐賀大学、12月は地方開催を予定するが、開催場所にこだわらない。
- ・ 2月の「光応用計測」は光応用・視覚技術委員会との合同研究会を、またPEM研究会の協賛を予定する。
- ・ 見学会は10月を計画する。

4. 平成30年度計測技術委員会活動状況

作本幹事より資料159-3に基づき説明があった。

- ・ 見学会は計測技術委員会の開催と合わせ、10月4日に情報通信研究機構で開催する。
- ・ 11月の佐賀大学で開催する研究会後の懇親会は、各自1,000円の参加費と昨年の剰余金で運営する。
- ・ 12月に香川大学で開催する研究会は、12月20日に学生研究発表会を予定する。学生研究発表会の締切は、申し込み10月19日、プログラム10月26日、原稿11月30日で、論文のファイリングなどは水野（統）委員にお願いする。
- ・ 2月の宮崎で開催する研究会は、PEM研究会と連催とする。2月28日～3月1日に開催し、会場は研究会を市民プラザで、意見交換会をホテルひまわり荘で行いたい。

5. 計測研究会発表募集案内先について

仲嶋副委員長より説明があった。

- ・ 研究会発表者にメールアドレスを記入していただき、それを基にメーリングリストを作成し活用する。メールアドレスの記入用紙はA4サイズで、受付で用紙を配布し後で回収する

6. 全国大会シンポジウム提案について

大谷委員長より資料159-5に基づき説明があった。計測技術委員会からの提案はないが、「テラヘルツ波を用いた非破壊検査技術調査専門委員会」の布施委員長に打診する。

7. 活動資金申請について

大谷委員長より資料159-6に基づき説明があった。

- ・ 平成31年度も特別講演を対象として申請する。開催日は「平成31年6月、11月、平成32年2月のいずれか」を対象とする。
- ・ 活動資金の使用にあたっては、予算執行前に事務局に連絡する必要がある。

8. 平成31年度戦略的事業の申請について

大谷委員長より資料159-7に基づき説明があった。計測技術委員会からは提案しない。

9. 研究会活動に対する補助金について

白井幹事補佐より資料159-8に基づき説明があった。平成30年度の計測技術委員会への補助金額は13,000円で、2月の意見交換会で使用する。

次回予定 日 時 平成30年10月4日（木）10：30～ 場 所 情報通信研究機構

10. その他

IM-09 議事録

議 事

- ・ 平成 30 年度支援費は 400 万円で、現在 166 万円を使用。1 事業 10 万円以下であるが、11 月及び 12 月の研究会で特別講演を行う場合には補助が可能
- ・ アワードの申請は新規・継続分も含め 11 月までに行う必要がある。また、アワードの審査員を HP 上に明記する必要があるが、募集要項に記載していることから問題ないのではないか。
- ・ IM の会員数は昨年比で 3%減少（135 名→131 名）している。